

胃と

## 春節シーズンにご用心！

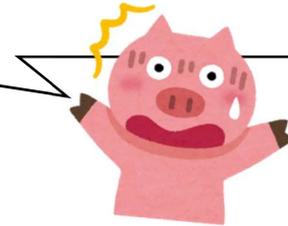
胃と

アフリカ豚熱（ASF）はアフリカ豚熱ウイルスが原因の豚といのししの病気で、症状は豚熱に酷似していますが、より病原性が強い傾向があります。

ASF の発生は、アジア太平洋地域や世界各地で報告され続けており、2018 年以降、日本や台湾を除くアジア全域に拡大しています。ウイルスは環境耐性があり、食肉・死体等でも長期に感染性が保持されます。



ASF ウイルスは、生のソーセージ、ハム、加工肉製品において数ヶ月間感染力を維持することがあります！！



2025 年の春節期間中及びその前後は、人、豚肉製品、そして動物の国内外への移動が増加します。この期間は特に ASF の国内侵入に注意しましょう！

### 野生いのししにおける豚熱ウイルスの陽性事例

令和7年1月21日に本県の湯河原町、令和7年1月28日に松田町で県内109例目、110例目となる野生いのししにおける豚熱陽性事例が確認されました。前回の陽性事例確認は令和6年7月3日の大井町で、今回は約半年ぶりの確認となります。



また、近隣の静岡県では令和6年10月以降では伊豆の国市、伊豆市、富士宮市、函南町で計10件の陽性事例が確認されています。

引き続きいのししを含む野生動物の農場侵入防止や消毒をはじめとする飼養衛生管理基準の遵守徹底にご協力をお願いします。

## 国内養豚場（群馬県）での豚熱患畜の確認

令和7年1月23日に群馬県前橋市で国内95例目（飼養状況：約4,800頭）となる豚熱の患畜が確認されました。

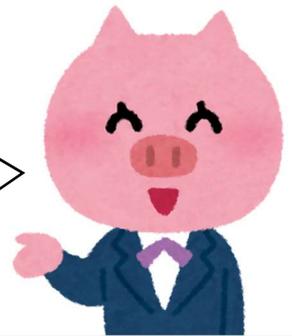
豚熱の感染はワクチン接種のみでは防ぐことはできません。飼養衛生管理基準の遵守状況を定期的に確認することで農場のバイオセキュリティを向上させ、感染リスクを減らすことが重要です。万が一、特定症状が確認された場合には、速やかに家畜保健衛生所へ通報してください。

特定症状には以下のようなものがあります

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢等がみられます。

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑（耳翼、尾、腹部、内股部）を呈し死亡します。

「おかしいな」と思ったらすぐに家保へ連絡を！！



### 神奈川県県央家畜保健衛生所

〒243-0417 海老名市本郷3658

電話：046-238-9111 ファクシミリ：046-238-9124

メールアドレス：ken-oukaho@pref.kanagawa.lg.jp



県央家保HP